



[2009/3/21 発行 編集担当：大森 尚子]

本年度も残すところあと少しとなりました。

3月とは思えないほど暖かい日が続き、桜の開花が待ち遠しい今日この頃。(花粉症の方には辛い季節ですが・・・) 今号は、2回の実技講習会と北陸方面への研修旅行の報告を中心にお届けしたいと思います。

第3、4回実技講習会「ガラス工芸/パート・ド・ヴェール」「陶芸/穴窯焼成作品の作陶会」

★第3回実技講習会は、ガラス工芸の「パート・ド・ヴェール」に挑戦しました。講師の井川彩子氏は2004年開催の「Artist in Residence at IGA」の参加作家さんで、現在は大阪市立クラフトパークでキルンワークの講師をされるなど、地元大阪を中心に活動されています。

パート・ド・ヴェールはガラスの粉を型に詰めて焼成する技法で、今回はアトリエで3日に分けて作業を行いました。まず1日目は粘土で原型を制作、それを耐火石膏で型取り、2日目はその型にさらに模様等を彫り込んだ後、粉ガラスを詰めました。参加者は10名。出来上がりをイメージしつつ粉ガラスを詰める作業はかなり集中力が必要で、皆さんの顔は真剣そのもの。粉ガラスを詰め終えたものを電気窯で焼成、年明けに型を割り出し、好みで研磨をして仕上げました。いろいろな表情の作品が無事完成！ありがとうございました。

(実技講習会担当：田井 佳子)



型に色の粉ガラスを充填中



なかなか難しい！



慎重に窯詰め



完成！！

★第4回実技講習会は、2月21日(土)アトリエにて、お馴染みの余部一郎氏(陶芸家/和泉市久保惣記念美術館市民創作教室講師)を講師に迎えて行ないました。

参加者は全員で11名。穴窯での焼成を前提とした各自で自由な作品をつくることにしました。その中で、経験豊富な余部先生に、紐づくり、手びねり、板づくり、電動ロクロなど、初心者も経験者も必要に応じて、具体的で細やかな個別指導をして頂きました。殆どの参加者が翌日の粘土カフェ作陶会にも参加され、作品を完成させることができ、皆が大満足の二日間となりました。有り難うございました。

今回の作品が、どんな穴窯作品に焼き上がるか？今から楽しみです。

また6月には、「陶芸/型による磁器制作とアトリエ訪問」を同じく余部先生にお願いしています。その折は、皆様、奮ってご参加ください。

(実技講習会担当：石津 勝)



「指先は両手を卵型に・・・」



「上達したかも・・・?」



机狭しと制作に励む姿



大きな灯籠も完成！

いよいよ3月26日から窯焚きです！！

1年がかりで間伐材を割り、準備をしてきた穴窯焼成を行います。

- ・窯詰め・・・3/22(日)、23(月)
- ・窯焚き・・・3/26(木)～30(月) 初日は10時集合 (31日予備日)
- ・窯出し・・・4/19(日) 10時集合

作業中の、見学、賄いや薪運びなどの短時間の応援、差し入れなど、歓迎いたします。



(自主活動グループ「粘土カフェ」担当：田上 小百合)

研修旅行 「金津創作の森・北陸探訪」の報告

2008年度研修旅行は、1月10日～11日、一泊二日の雪の舞う北陸路でした。10日の午後に加賀温泉駅集合、石川県挽物轆轤技術研修所・山中座・北大路魯山人ゆかりの「いろは草庵」の見学の後、山代温泉で宿泊しました。

11日は、金津創作の森に足を運び、吹きガラス体験や陶芸工房の見学をしました。創作の森内のレストランにて昼食後、石川県九谷焼美術館・中谷宇吉郎雪の科学館を見学。予定の時間に解散いたしました。

各施設の見学・体験ともに、非常に有意義でありましたし、日程や予算もほぼ計画どおりに実行できました。これも参加者の皆様のご協力があったることと、深く感謝しております。ありがとうございました。

惜しくも今年度の旅行に参加されなかった方々には、毎年行き先や見学先を十分検討のうえ実施しておりますので、2009年度の参加をお願いいたします。同時に旅行先のご希望がございましたら、係までお知らせ下さい。今後、検討していきたいと思っております。
(研修旅行担当：藤田 邦子)



挽物轆轤技術研修所にて



「いろは草庵」



吹きガラス制作



昼食後に全員集合！

「庵プロジェクト」の活動報告です。

現在、ツリーハウスづくりは、クヌギの大木へ向いの石垣から一本木を立て掛けたところで中断しています。このままでは、いつできるのか？計画だけで終わってしまう？なんとかしないと！と思っただけが空回りしている状態です。ただ、そんな中、朗報があります。会員宅のリフォームの際に出た解体廃材（床材や柱材）が入手できました。釘等が沢山刺さったままですが、日程調整して、なんとかしたいと考えています。参加しても良いと思われる奇特な方は、担当の石津までご連絡を…。
(「庵プロジェクト」担当：石津 勝)

2008年度を振り返って。代表理事よりお礼のご挨拶

今回2008年度を締めくくり、2009年度を迎えるにあたり、お礼とお願いを申し述べたいと存じます。

2008年度は「Artist in Residence at IGA」は準備期間の年で、少しゆったりと、地に足の付いた平常の事業を中心に1年の活動を行いました。初めての試みとなった旧矢持小学校を会場とした「風と土のかたち」展は、会員の皆様を始め、地元の作家の方や矢持地区市民センターで行なわれている木工旋盤や陶芸講座の参加者の作品も含めて展示し、新たな交流の輪が広がり、地域の方から「学校が生き返りました！」と、喜びの声も聞くことができました。本法人の活動の成果が着実に波及しているように感じました。また、ガラス工芸や草木染めなど、専門の講師陣による4回の実技講習会は会員を始めとし、地域からの参加者も含め、いずれも好評でした。回数を重ねることにより、様々な造形力が高まっている実感を得ています。

恒例の「粘土カフェ」の穴窯焼成は3月末に4回目を迎えますが、少数の会員の奮闘に加え、薪割りや窯焚きは学生ボランティアの方々に大部分を依存しており、折角、大勢の労力と多額の資金を投入し築窯した穴窯の活用に、会員の中からもう少し本気で取り組む方が増えて欲しいというのが率直な感想です。

また、正月早々に「石川県挽物轆轤技術研修所」や福井県の「金津創作の森」などを訪れた研修旅行は参加者15名の旅となり、「吹きガラス体験」など、とても思い出深い「大人の旅行」となりました。

様々な行事は、事務局員の方々を中心に運営していますが、固定した人材ではなく新たな方々が加わることにより、本法人もリフレッシュできるものと存じます。2009年度は是非、多くの方が本法人の活動に参加頂くことにより、新しい活動のページが開かれることを期待しております。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

(代表理事：森田 耕太郎)

会費納入のお願い & 皆さまのご意見お待ちしております。

●恐縮ではございますが、継続会員の方の中でまだ入金されていない方は、年会費の入金をお願いします。

郵便口座：00890-1-106346 NPOアーツ プラネット プラン フローム イガ

●法人のホームページです。ご覧ください。「展覧会情報」のページもあります。会員の皆様の個展・グループ展などの情報を載せますので、事務局まで是非お知らせください。

ホームページアドレス：<http://www.appfi.org> 事務局Eメール：contact@appfi.org